

第58回山口県央学会のご案内

盛夏の候、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

今年も山口県央学会（防府、徳山、山口市、吉南の各歯科医師会で構成）を、下記の日程にて開催することとなりました。

58回目となる今回は脳卒中急性期からの摂食嚥下リハに取り組まれている高畠先生をお招きして、脳卒中における口腔ケア、摂食嚥下リハの重要性を再確認し他職種連携の一助となればと考えています。

記

- ・ 日 時 平成27年8月29日（土）午後3時30分より
- ・ 場 所 山口グランドホテル（新山口駅新幹線口）
- ・ 対 象 医療従事者、介護従事者
- ・ 特別公演 演 題「日本の医療を口から変えよう。
～脳卒中急性期からの口腔ケア・経口摂取訓練～」
講 師 産業医科大学リハビリテーション医学講座
高畠英昭 先生

嚥下障害・胃瘻ともに、その原因の半数が脳卒中ですが（Baba M et al, Phys Med Rehabil Clin N Am 2008、Suzuki Y et al, World J Gastroenterol 2010）、脳卒中後の嚥下障害への正しい対処法はじつはまだ良く分かっていません。反復唾液嚥下テスト（RSST）を行うことで嚥下機能が改善したという報告もなければ肺炎が減少したという研究結果もないにも関わらず、嚥下障害患者の経口摂取開始時にRSSTを行うことが推奨されているのが本邦の実情です。

現在、嚥下障害や誤嚥性肺炎予防に対する勉強会やセミナーが日本各地で多くの職種の方々を対象に行われていますが、そのほとんどは回復期～生活期・在宅を対象とするものです。本学会では、脳卒中における胃瘻ゼロを目指して、生活期・在宅のはじまりである脳卒中急性期における嚥下障害・誤嚥性肺炎の実態や対処法を中心にお話をさせていただきます。

問い合わせ先 吉南歯科医師会

TEL : 083-973-7240

Mail:ha@c-able.ne.jp